

9月議会 一般質問

- ①2大まちづくり計画の改定
②地域担当職員制度
について質問しました！



詳しくはホームページでも
ご覧いただけます



1 「都市計画マスタープラン」と「館山湾振興ビジョン」の「新総合計画」と連動する改定について

発端は、館山駅東口の高速バスターミナルを西口に移動してはという発想でした。

R14年度開通予定の「船形バイパス」、今年度始まった船形漁港の「海業」始め、海辺のまちづくりが少しずつ進む中、調べるとH21年に策定された2大計画の存在が明らかに。「館山港多目的観光栈橋」建設も含む長期計画ですが経緯は複雑で、この点も議会の議事録を追ってHPにまとめました。

10年～20年の計画ですから、実現または道半ばの事業も多く、一方廃止の事業もあります。この間、社会情勢も大きく変化しているため、国や県への市の態度を示すためにも刷新を求めました。

都市計画マスタープランには、すでに高速バスターミナルを西口に移す構想が描かれていました。館山湾を眺めながら地元民が帰省し、観光客

が訪れる。お金をかけずとも大きな魅力発信の効果が望めます。土地や公共交通事業者の合意など多くの課題がありますが、市が舵をとって協議を進めるよう要望しました。

新総合計画と連動させた改定について、市長からも前向きな答弁を頂きました。担当の市職員も本気度を示してくださいました。これからの10年、20年をつくる計画に注目です。

2 町内会をサポートする「地域担当職員制度」の導入について

地域担当職員制度とは、自治体職員を各地域の担当者として配属し、住民との対話や交流を通じて地域課題の解決に取り組む制度です。

実は、館山市にはH10年度まで「行政区職員制度」が存在し、全戸訪問などハードな内容で廃止となっていたことがわかりました。

一方、この制度は現在も全国自治体の3割が導入し、多様な方法で地域課題の収集と解決に向き合っています。

町内会運営は、会長職はじめ消防、民生委員、保健推進委員、防犯指導員、神社関係役員など多岐にわたる役職があり、地域の安心・安全、健やかな暮らしが守られています。ご担当の方々には本当に頭が下がる思いです。

今、全国的な課題が、高齢化や働き方改革によるなり手不足です。本市も喫緊の課題となり、町内会連合協議会か

ら市に対し陳情も上がっています。

かつて35人いた議員も18人まで減り、市内多くの地区で議員不在。今後市民の困りごとをどのように行政に伝えていけばよいのでしょうか。

生活者である住民からすれば、行政の縦割りは瑣末なことです。町内会運営、コミュニティ促進、福祉的支援も分野横断的に今後のまちづくりを考えねばならないと思います。



市議会主催の議会報告会が10月26日に開かれました。各委員会の報告の他、「防災」に関して活発な意見が交わされました。



11月17日(10時～15時、順延24日)、「南総里見八犬伝」や「ワンコ」をテーマに、北条海岸ビーチマーケットが開催されます。112店舗が北条海岸芝生広場に集結します。ライブも目白押しですので、ぜひご来場ください。